

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	60.0%	自校A B層の割合	50.0%

## 目標達成に向けた取組

3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
<b>学校全体の取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年3回の校内研究授業や学期に1回の授業参観期間を設定し、管理職による授業観察・教員相互による授業参観を実施する。</li> <li>1単元の学習過程の中で、一人1台端末を活用した児童主体の学習課題の設定や意見交流、個に応じた支援を実施する。</li> <li>1時間の中で、「自力解決」「意見交流」「学習の振り返り」をそれぞれ5分以上設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京ベーシック・ドリル診断シートを年4回実施する。</li> <li>標準学力調査、再調査、プレ調査をそれぞれ年1回実施する。</li> <li>朝学習で、ミライシード内のドリルパーク等を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習の手引きを配布する。</li> <li>「江戸川っ子study week!」と連動し、家庭学習キャンペーンを年3回実施する。</li> <li>家庭学習カードを活用し、保護者と児童が家庭学習習慣について振り返るツールとする。</li> </ul>
<b>特に支援が必要な児童・生徒への手立て</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種学力調査やこれまでの学習の習熟を分析するとともに、学力向上プロジェクトチーム及び強化アドバイザーの活用により、個のつまずきに応じた適切な課題設定と支援を行う。</li> <li>SCや巡回教員、特別支援教育専門員と連携し、特性や課題に応じた指導体制を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年150回の放課後補習事業のほか、担任による補習を年35回以上実施する。</li> <li>夏季休業中にサマースクールを6回実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドリルパーク使用時は、個のつまずきや特性に応じて問題数や内容を精選し実施する。</li> <li>下校前に家庭学習のポイントを児童と確認し、意欲をもって安心して取り組める環境を整える。</li> </ul>
<b>成果指標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国学力調査「国語の授業の内容はよく分かる」「算数の授業の内容はよく分かる」の肯定的評価90%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京ベーシック・ドリル診断シート正答率70%通過率70%以上</li> <li>標準学力調査の平均点通過率80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習カード、宿題の提出率、取組率それぞれ90%以上</li> <li>全国学力調査「授業時間以外の勉強時間」1時間以上の回答割合80%以上</li> </ul>